

記録：三菱地所ホーム（株） 村上

(社) 日本建築学会

環境振動対策事例検討 SWG 第4回議事録 (案)

A. 日 時：2010年1月29日（金） 16:00～18:00

B. 場 所：建築会館会議室

C. 出席者：川本主査 他9名

D. 配布資料

番号	内容
4-0	環境振動対策事例検討 SWG 第3回議事録
4-1	ハンドブック 第5章 対策事例
4-2	振動事例修正・追加案
4-3	ハンドブック 第3章 合意形成

E. 議事内容：

(1) 第3回SWG議事録(案)の確認 (資料4-0)

- ・(4)の測定法のマニュアルについては、まだ環境省より公表されていないため、未送付としたことを報告。→議事録(案)に追記済

(2) ハンドブックへの対策事例掲載についての意見交換 (資料4-1)

- ・「5.4 戸建て住宅（小規模建築物）の振動」の内容について、川本主査より説明。
- ・掲載されている対策事例は、SWG用に各委員より提出いただいた資料を、ハンドブック用に簡潔にまとめ、表5.4.1に各事例を一覧表で整理した。
掲載されているのは、提出いただいているほぼ全ての事例。
- ・SWGとしては、これからデータの蓄積が必要。
- ・事例については、顧客説明で完了してしまうもの、測定費用を考えると先に対策を実施してしまうものがあるため、実際に測定している事例は少ない。
- ・今後事例については、振動源、伝搬経路、住宅のどれに問題があるか検討していく必要がある。
- ・ハンドブックについては査読中のため、資料4-1で意見等があれば、川本主査宛に送付。

(3) 振動事例修正・追加案について (資料4-2)

①振動事例修正案

【報告内容】

- ・資料4-2-1～4-2-6は、第3回SWGでの意見を反映させて、建物構造・その他要素の追加、地盤の固有振動数の追加、測定方式の追加、測定結果に加速度[gal]の追加等の修正をした。

【意見交換内容】

- ・本SWGとしては、測定方法は学会の測定法を推奨するため、測定方式は、①学会→②JIS→③その他（「日本騒音制御工学会」を明記せずに「その他」とする）の順序、測定結果は、①加速度[gal]→②1/3オクターブバンド[dB]、③振動レベル[dB]の順序で記載する。
- ・測定結果の「鉛直成分」と「水平成分」の順序を入れ替える。
- ・「(3)地盤情報」の「固有振動数」→「卓越振動数」に変更。
- ・平面図・測定箇所等、X、Y、Zを明記するフォームとする。

②追加振動事例

【報告内容】

- ・資料 4-2-7 は循環バスによる事例。
バス停付近の住宅のためバスの発停、他マンホール、道路の不陸等の影響により、地盤レベルでの振動が確認された。
- ・資料 4-2-8 は JR 東海道線線路脇のモデルハウスでの事例。
- ・資料 4-2-9 はドラム式洗濯機の運転による振動事例。

【意見交換内容】

- ・ドラム式洗濯機については、他委員でも対応経験があり、今後も出てくる問題であるため、継続して調査していく。

(4) ハンドブックへの合意形成方法掲載についての意見交換（資料 4-3）

- ・ハンドブックには、振動自体への耐震性、振動の累積による耐震性・耐久性の低下に着目し、掲載されている。
- ・実際には、居住者の心配事項、建物や発生振動等あらゆる条件によって回答方法は変わってくる。
- ・ハンドブックでは多く事例を掲載せず、まずは代表的な事例をもとに、初期対応を適切にできるようにするために、合意形成の重要性を示している。
- ・地震での劣化、経年劣化による建物の性能低下を継続してフォロー（ケア）していくのが理想。
- ・顧客対応する立場としては、基本的にはフォローは継続するスタンスではあるが、できるだけ後延ばしせず、まずは初期段階で対応を完了させたい。
- ・資料 4-3 p52<戸建て住宅>部をもとに、他に数事例追加のうえ、どのような回答が望ましいか担当委員が検討する。
- ・今後できるだけ多くの事例を収集し、それをケース分担して回答方法を整理していく。
→各委員からも事例を提出。自社で回答に迷っているような事例でも可（SWG の場で検討）。

(5) 今後の進め方

①振動問題の事例のまとめ

- ・SWG での検討内容を反映させて修正（担当委員）
- ・振動事例の追加提出（各委員）

②合意形成事例のまとめ

- ・合意形成についての回答方法を検討（担当委員）
- ・各委員より合意形成に関する事例提出→SWG で整理（各委員）

(6) 次回開催について

- ・日時：2010 年 4 月 19 日（月） 15：00～17：00
- ・場所：建築会館会議室

以 上